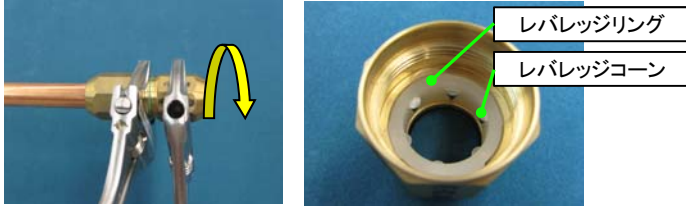


おっぞんくんCZテストプラグ 施工要領書

1. ナットの取り外し

- ・モンキーレンチ等を用いて継手本体からナットを緩めて取り外して下さい。
注) 継手本体及びナットに糸くず状の金属片が発生した場合は除去して下さい。
- ・取り外したナットはゴミや埃が付着しない環境下で大切に保管して下さい。
注) レバレッジリングはナットから取り外さないで下さい。レバレッジコーン脱落の原因となります。



2. テストプラグの確認、取り付け

- ・テストプラグのシール面に傷付きやゴミ、埃の付着が無いを確認して下さい。
注) 傷付きがある場合は新しいテストプラグに取り替えて下さい。ゴミ、埃の付着がある場合は除去して下さい。
- ・緑色のインジケーターが見えなくなるまで継手本体にテストプラグを手締めして下さい。
注) 締め込み不足の場合、気密試験時にスプオ抜ける恐れがあります。確実に締め込んで下さい。



3. 気密試験

- ・使用される機器メーカーの施工・管理マニュアルに基づき実施して下さい。

4. テストプラグの取り外し

- ・配管内の圧力を抜いた後、継手本体からテストプラグを取り外して下さい。

5. ナットの取り付け

- ・継手本体及び取り外したナットのパッキンにゴミ、埃の付着が無い、またナットからレバレッジリング、レバレッジコーンの脱落が無いを確認して下さい。
注) パッキンにゴミ、埃が付着している場合は除去して下さい。レバレッジリング、レバレッジコーンが脱落している場合は新しい継手に取り替えて下さい。



- ・取り外したナットの端面が継手本体の端面側突起部と一致する位置までナットを手締めして下さい。
注) 端面側突起部より奥までナットを締め込まないで下さい。
銅管の挿入が困難になり、無理に挿入した場合は銅管に傷が付きリークの原因となります。



6. 管の差込みとナットの予備締め込み

- ・CZ施工要領書の①～⑥に従い、管を差込んで下さい。
- ・管を差込んだ後、ナットが継手本体の端面側突起部を通過するまでモンキーレンチ等を用いて締め込んで下さい。
注) ナットが継手本体の端面側突起部を通過した際にトルクが下がります。特に不安定な体勢での施工時にはご注意ください。
- ・以後の施工はCZ施工要領書の⑦以降に従って下さい。